



リサイクル産業実態調査 調査票

経済産業省・環境省

問1. 会社概要

1. 事業者名
および法人番号

事業者名

☐ 変更なし

☐ 変更あり

法人番号

2. 本社所在地

☐ 変更なし

☐ 変更あり

3. 資本金

平成31年4月1日現在の値を記載してください。

☐ 変更なし

☐ 変更あり

4. 企業全体の従業員数

平成31年4月1日現在の人数を記載してください。

5. 担当者名
および連絡先

問い合わせ可能な
ご連絡先を記載
してください。

所属

氏名

電話番号

FAX番号

6. 保有している
許可・認定・登録

平成31年4月1日現在、あてはまるものを全て○で囲んで下さい。

1	産業廃棄物収集運搬業許可	5	家電リサイクル法の再商品化等認定施設	9	自動車リサイクル法破砕業許可(破砕・破砕前処理)
2	産業廃棄物処分業許可(中間処理)	6	自動車リサイクル法引取業登録	10	自動車リサイクル法のASR指定引取場所
3	産業廃棄物処分業許可(最終処分)	7	自動車リサイクル法フロン類回収業登録	11	再生利用認定制度の認定
4	小型家電リサイクル法の認定事業者	8	自動車リサイクル法解体業許可		

7. リサイクル関連事業の売上の有無

平成31年4月1日現在、あてはまるものを○で囲んで下さい。

1	リサイクル関連事業の売上がある
2	リサイクル関連事業の売上没有

問2以降に続けてご回答下さい。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※リサイクル関連事業とは、収集・運搬・中間処理・最終処分の委託費による売上、再資源化されたものの販売による売上、再資源加工による売上、その他廃棄物・リサイクル関連の物品販売および役務提供を指します。

問2. 企業全体の売上・費用・設備投資額

1. 売上・費用総額(消費税額を含む)及びその内訳

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について記入してください。

	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円
総売上								
費用総額								
うち給与総額								
うち租税公課								

2. 平成30年度決算期間中に機械への設備投資を行いましたか。行った場合は以下にその金額を記入してください。

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について記入してください

	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円
機械への設備投資額								
うち主にリサイクル関連事業に使用する機械への設備投資額								

リサイクル関連事業に関わる内訳及び費用

総売上に占める割合	百	十	一	
①収集運搬による売上 (収集運搬委託費による売上)				%
②中間処理による売上 (中間処理委託費による売上)				%
③最終処分による売上 (最終処分委託費による売上)				%
④再資源化による売上				%
再資源化されたものの販売による売上				%
再資源加工の委託による売上				%
⑤その他の廃棄物・リサイクル関連事業による売上				%
物品販売による売上				%
役務提供による売上				%

①に売上有る場合、裏面問4-1も記入

②④いずれかに売上有る場合、裏面問4-2も記入

費用総額に占める割合	百	十	一	
①収集・運搬による費用				%
②光熱費				%

問3. 年間エネルギー消費量

1. エネルギー使用量をご記入ください。

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について記入してください

	全社での使用量	
電力		kWh
原油(除くコンデンセート)		kL
NGL・コンデンセート		kL
ガソリン		kL
軽油		kL
ナフサ		kL
ジェット燃料油		kL
灯油		kL
A重油		kL
B重油		kL
C重油		kL
潤滑油		kL

	全社での使用量	
石炭類		t
原料炭		t
一般炭		t
無煙炭		t
コークス		t
石油コークス		t
コールタール		t
石油アスファルト		t
ガス(石油ガス)		m3
LPG(液化石油ガス)		m3
LNG(液化天然ガス)		m3
天然ガス(除く液化天然ガス)		m3
コークス炉ガス		m3
都市ガス		m3
高炉ガス		m3
転炉ガス(電気炉ガス)		m3

問4ー1. 収集・運搬の取引量・チャネル

1. 年間取引量・金額

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について、それぞれの量と金額を記載して下さい。

			受託量		金額	
産業廃棄物 処理法で定義される産業廃棄物	燃え殻	焼却灰		トン		千円
		石炭灰		トン		千円
		その他		トン		千円
	汚泥	有機汚泥		トン		千円
		無機汚泥		トン		千円
	廃油			kL		千円
	廃酸			kL		千円
	廃アルカリ			kL		千円
	廃プラスチック類			トン		千円
	ゴムくず			トン		千円
	金属くず	鉄くず		トン		千円
		非鉄くず		トン		千円
	ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず	ガラスくず		トン		千円
		コンクリートくず		トン		千円
		陶磁器くず		トン		千円
	鉱さい	電炉スラグ		トン		千円
		非鉄製錬スラグ		トン		千円
		その他		トン		千円
	がれき類			トン		千円
	ばいじん			トン		千円
	紙くず			トン		千円
	木くず			トン		千円
	繊維くず			トン		千円
	動植物性残さ			トン		千円
	動物系固形不要物			トン		千円
	動物のふん尿			トン		千円
	動物の死体			トン		千円
	13号廃棄物			トン		千円
個別法※1	家電4品目			台		千円
	小型家電			トン		千円
有価で取引される品目	使用済自動車（廃車ガラ、ASR含）			台		千円
	鉄鋼または鉄鋼原料			トン		千円
	非鉄または非鉄原料			トン		千円
	ガラスまたはガラス原料			トン		千円
	樹脂または樹脂原料			トン		千円
	製紙または製紙原料			トン		千円
	セメントまたはセメント原料			トン		千円
	その他			トン		千円
	上記以外の一般廃棄物			トン		千円

※1個別リサイクル法で対象となる品目を指します。

2. 収集・運搬を行う排出源数

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について、収集運搬を行った排出源数を数値で記載して下さい

	百	十	一	
収集を行う排出源数				箇所

4. 再資源化されたものの引渡先数

平成30年4月1日から3月31日までの1年間についての引渡先の数値で記載して下さい

	百	十	一	
国内				社
海外（輸出）				社

5. 保有している設備・機械

平成31年4月1日現在、あてはあるもの~~全て~~で囲んで下さい。

①	シュレッダー	⑤	フロン回収機	⑨	アルカリ洗浄機	⑬	RPF製造設備
②	プレシュレッダー	⑥	タイヤ破砕機	⑩	磁力・比重選別機	⑭	
③	ギロチンシャー	⑦	ニブラ	⑪	圧縮・減容機	⑮	
④	プレス機	⑧	X線・光学選別機	⑫	焼却設備	⑯	

問4ー2. 中間処理・再資源化の取引量・チャネル、保有設備・機械

1. 年間取引量・金額

平成30年4月1日から3月31日までの1年間について、それぞれの量と金額を記載して下さい。

			引受量		引受金額	引渡量		引渡金額
産業廃棄物 処理法で定義される産業廃棄物	燃え殻	焼却灰		トン	千円		トン	千円
		石炭灰		トン	千円		トン	千円
		その他		トン	千円		トン	千円
	汚泥	有機汚泥		トン	千円		トン	千円
		無機汚泥		トン	千円		トン	千円
	廃油			kL	千円		kL	千円
	廃酸			kL	千円		kL	千円
	廃アルカリ			kL	千円		kL	千円
	廃プラスチック類			トン	千円		トン	千円
	ゴムくず			トン	千円		トン	千円
	金属くず	鉄くず		トン	千円		トン	千円
		非鉄くず		トン	千円		トン	千円
	ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず	ガラスくず		トン	千円		トン	千円
		コンクリートくず		トン	千円		トン	千円
		陶磁器くず		トン	千円		トン	千円
	鉱さい	電炉スラグ		トン	千円		トン	千円
		非鉄製錬スラグ		トン	千円		トン	千円
		その他		トン	千円		トン	千円
	がれき類			トン	千円		トン	千円
	ばいじん			トン	千円		トン	千円
	紙くず			トン	千円		トン	千円
	木くず			トン	千円		トン	千円
	繊維くず			トン	千円		トン	千円
	動植物性残さ			トン	千円		トン	千円
	動物系固形不要物			トン	千円		トン	千円
	動物のふん尿			トン	千円		トン	千円
	動物の死体			トン	千円		トン	千円
	13号廃棄物			トン	千円		トン	千円
個別法※1	家電4品目			台	千円		台	千円
	小型家電			トン	千円		トン	千円
	使用済自動車（廃車ガラ、ASR含）			台	千円		台	千円
有価で取引される品目	鉄鋼または鉄鋼原料			トン	千円		トン	千円
	非鉄または非鉄原料			トン	千円		トン	千円
	ガラスまたはガラス原料			トン	千円		トン	千円
	樹脂または樹脂原料			トン	千円		トン	千円
	製紙または製紙原料			トン	千円		トン	千円
	セメントまたはセメント原料			トン	千円		トン	千円
	その他			トン	千円		トン	千円
	リユース製品						トン	千円
一次原料			トン	千円				

※1個別リサイクル法で対象となる品目を指します。

(注)引渡時には、最終処分場への引き渡し、および中間処理業者への引き渡しいずれの場合も含まれます。
(注)リユース品として複数品目を販売する場合、それらの合計値を記入ください。
(注)原料として一次原料を用いている場合は、引受量の欄に購入量を、引受金額の欄に購入金額を記入ください。

2. 中間処理・再資源化にかかる引受先数

平成30年4月1日から3月31日までの1年間についての引受先の数値で記載して下さい

	百	十	一	
国内				社
海外（輸入）				社

3. 処理（引受）・生産（引渡）能力

処理能力、生産能力については平成31年4月1日現在の値を記載して下さい。年間稼働日数については、平成30年4月1日から3月31日までの1年間についての値を記載して下さい

A. すべての品目の引受に係る一日当たり処理能力	t/日
B. すべての品目の引渡に係る一日当たり生産能力	t/日
年間稼働日数	日/年

※A, Bいずれか一方を記載ください。